

夏どりイチゴ（富士河口湖町、北杜市）

1 地域の概要・栽培の歴史

夏場のイチゴ栽培は、冷涼な気候が産地の条件となることから、県内では、富士河口湖町と、北杜市で栽培が行われている。

夏どりイチゴは、観光地における観光イチゴ園での需要が高く、県内有数の観光スポットである富士河口湖町では、主に観光摘み取り用として栽培されている。

その一方で、夏場は国産イチゴの品薄期であり、近年、消費者の国産品志向が高まる中で、洋菓子材料としても需要が伸びており、加工原料用向けとして北杜市を中心に栽培されている。



2 セールスポイント

従来は「エラン」が栽培されていたが、平成18年に「かいサマー」が、県オリジナル品種として育成された。「かいサマー」は、「エラン」に比べて糖度が高く、食味が良いことから、取り扱い業者からも非常に高い評価を受けており、現地への導入が望まれている。

なお、「かいサマー」は、富士河口湖町と北杜市の両地域で、平成21年度からの導入が検討されている。

3 出荷時期

7月～10月

4 問い合わせ先

問い合わせ先：富士河口湖町農林課【Tel：0555-72-1115】

JA梨北営農部販売直販課【Tel：0551-23-1522】